

氏名： 倉田 容子 (KURATA Yoko)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
職名： リサーチフェロー
学位： 博士 (人文科学)
専門分野： 日本近代文学
E-mail： kurata.yoko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

エイジング/ジェンダー/表象/近代家族/老女
aging / gender / representation / modern family / old woman

◆主要業績

- ・「円地文子一年老い給ふほど、この世ならぬ美しさのみ勝りて」(お茶の水事業会「お茶の水ブックレット 8 明治 大正 昭和に生きた女性作家たち」pp.127-152、2008年11月)
- ・「《モード》としてのテキスト『月の輪船』」(『現代女性作家読本 長野まゆみ』鼎書房、2009年刊行予定、入稿済み)
- ・「温かなお皿—《癒し系》フェミニズムとしての江國テキスト」(『現代女性作家読本 江國香織』鼎書房、2009年刊行予定、入稿済み)
- ・口頭発表「梨木香歩における老女表象—ジェンダー/エイジング/エスニシティの視座から」(日本児童文学学会5月例会、2008年5月、於/日本フラワーデザイン専門学校)
- ・「研究動向 円地文子」(「昭和文学研究」第57集、pp.65-69、2008年9月)

◆研究内容 / Research Pursuits

円地文子や梨木香歩といった近現代女性作家の作品における老女表象を、ジェンダー/エイジング批評の観点から考察する。とくに近代家族との関わりにおいて、女性のライフコースがどのように規範化され、その老いがどのように表象されてきたのかを、新聞雑誌等の同時代的な言説を参照しつつ検討することで、文学作品の位相とその功罪を問い直す。

I analyzed the representations of the old women in Japanese modern female writer's work from the viewpoint of gender/aging criticism. How had women's life course been made a standard when related with a modern family? Moreover, how had their aging been represented? I tried to consider the merits and demerits of the literary works referring to the contemporary discourse of the newspaper and magazine etc.

◆教育内容 / Educational Pursuits

東京家政学院中・高等学校にて高1対象「国語総合」を通年、および、お茶の水女子大学にて「日本近代文学論講読(近代)」を後期のみ、非常勤講師として受け持った。後者においては、批評的に〈読む〉とはどうということなのかを学ぶ契機とすべく、主に『坊っちゃん』や『羅生門』といったキャノン化された作品群を取り上げ、それらの作品における老女像をジェンダー／エイジングの視点から読み直した。

◆研究計画

老人女性／老人男性をめぐる語りに焦点化して日本近代文学史を再検討し、網羅的なジェンダー／エイジング表象史を構築する。その研究成果を、社会学・歴史学・経済学等の隣接諸分野におけるエイジング研究の知見とすりあわせることで、大局的なエイジング研究の発展に貢献したい。